

別紙1 オプトアウト用文書

当院における臨床研究について(2022/4/26)

研究課題

「沖縄県における悪性リンパ腫の臨床像と病態の解明を目指したデータベース構築」

研究の対象となる方：2000～2017年間に新規に悪性リンパ腫と診断された方

研究期間：許可日～2032年3月31日

琉球大学病院第二内科では、上記研究課題の臨床研究を行うことになりました。悪性リンパ腫は、血液悪性疾患の中で最も罹患患者数が多く、悪性腫瘍全体の中でも比較的頻度の高い疾患で、色々な型に分類されています。沖縄県は、地理的及び民族的な背景が日本本土とは異なり、悪性リンパ腫の型の分布や病態が特徴的な様相を示すことが推測されますが、正確な状況はまだ把握されていません。この研究は、沖縄県の悪性リンパ腫の患者さんの情報を収集してデータベースを作成し、悪性リンパ腫の予防・治療戦略構築のための臨床研究の基盤を整備することを目的としています。

この研究は、通常の診療で行われた検査の結果や治療の内容、治療の効果などのデータを用いて研究を行います。また、診療時に採取されたリンパ節やその他の組織検体の病理標本を用いて、研究に必要な検査を行います。この研究のために、新たに血液や組織の検体を採取することはありませんので、患者さんの負担が増えることはありません。診療時のデータと病理標本を用いた検査結果を統合し、データベースを作成します。このデータベースを用いて、病気の発症や経過と関係する要因を研究します。

個人情報（プライバシー）は厳重に保護されます。本研究に参加された方々の診療記録や病理組織標本は、解析する前に住所、氏名、生年月日などを削り、代わりに新しく符号（匿名化）をつけ、どこの誰のものかを全く分からないようにした上で琉球大学大学院医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座及び細胞病理学講座において厳重に保管します。符号と個人を結びつける対応表は、個人情報管理者が厳重に管理します。あなたの氏名やプライバシーが外部に漏れる心配は全くありません。

また、本研究で得られた研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名などが明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌およびデータベース上で公に発表されることがあります。

ご希望があれば、この研究の研究計画書の内容を見ることができます。その場合は、主治医または研究代表者にお知らせください。

この研究課題は、研究の科学性や倫理性などについて倫理委員会で審議を行い、琉球大学長のもと、臨床研究倫理審査委員会の許可を受けています。

研究対象となる方で、診療情報や病理標本の使用に同意されない場合は自由に使用の

拒否ができます。撤回の申し出があった場合は、研究対象から外します。それによって診療の内容に影響することは一切ありません。

ご不明な点は、以下にお問合せください。

既存試料・情報の提供を行う施設

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院（研究責任者:宮城 敬）

沖縄県立中部病院（研究責任者: 朝倉 善崇）

社会医療法人敬愛会 中頭病院（研究責任者: 森島 泰雄）

沖縄県立南部医療センター（研究責任者: 大城 一郁）

地方独立行政法人 那覇市立病院（研究責任者: 内原 潤之介）

日本赤十字社 沖縄赤十字病院（研究責任者: 友寄 毅昭）

（連絡先）

琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病講座（第二内科）

准教授 森島 聡子

電話番号 098-895-1146